

発 行

福井県大野市天神町1番1号

大 野 市 役 所

電話(代) 6-1111

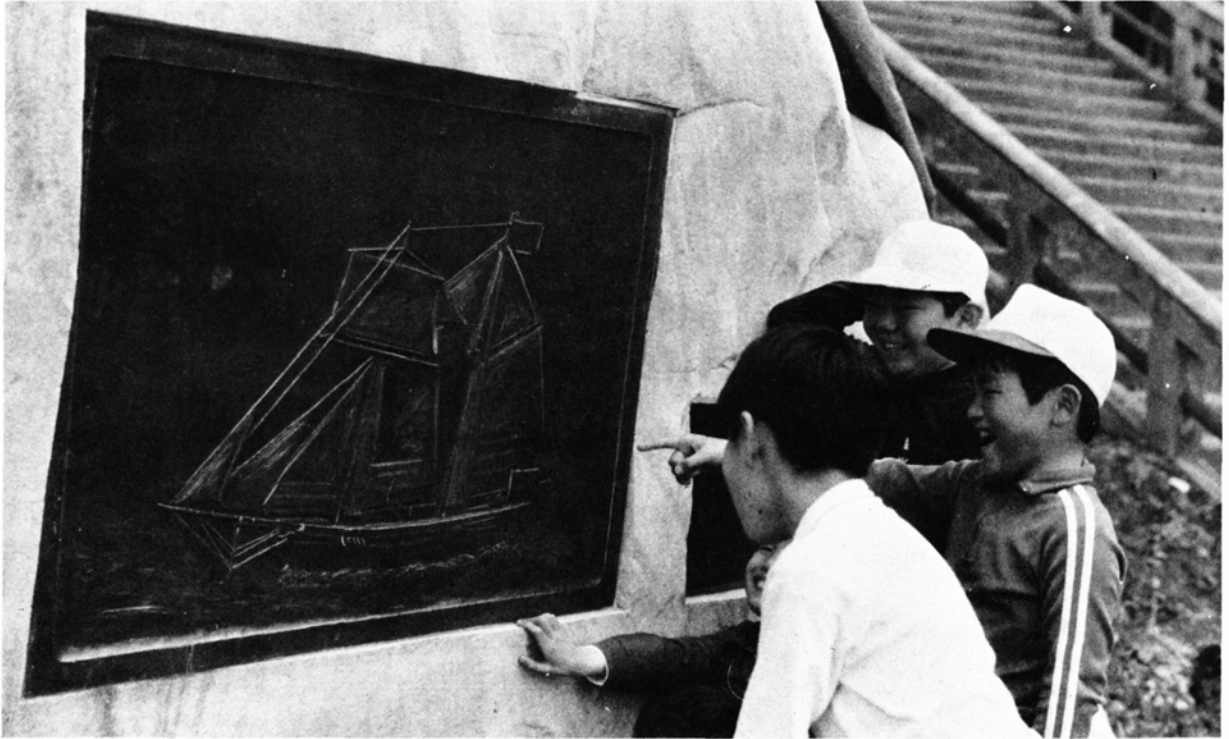
郵便番号 912

印刷 松浦印刷所



3月の人口の動き

出生	男 23	女 26	計 49
死亡	男 22	女 28	計 50
転入	男 77	女 79	計 156
転出	男 164	女 175	計 339
世帯数	10,203 (前月+1)		
人口	42,532 (前月+184)		
男	20,495	女	22,037



「大野丸」の壮挙をたたえて

亀山公園に石碑完成

ふる国の ふるき郡の
名もゆかし 二帆前
大野丸 波のりゆきし……
後の子も おくれじものを

(大野高等学校校歌一節)

亀山公園東側第一階段横に、幕末に活躍した大野藩船「大野丸」の碑が完成し、4月20日大野青年会議所会員・文化財保護委員・市関係者など約50人が出席して除幕式がありました。

この碑は、大野青年会議所が昨年のチャリティショーで得た収益81万円を市に寄付、この善意で建設したものです。

石材は横2尺90分、縦1尺50分、重さ6トンの自然石を使い、表面に「大野丸」の横1尺10分、縦80分の銅板と、横80分、縦30分の説明板が入っています。

大野青年会議所理事長赤尾幹夫さんは

「陸封の大野藩が諸藩に先がけ洋帆船を造り、カラフト開拓を行ったことは本当にすばらしいことです。この偉業を私たちの心として生かさなければなりません、そのシンボルができたことはうれしい」と述べています。

この碑は、これから亀山公園を訪れる多くの人々に、大野人の進取の気象を強く語りかけてくれるでしょう。

(写真は「ワ一立派な船だ、ほくらもが んばるぞ」石碑と夢を語る子供たち)

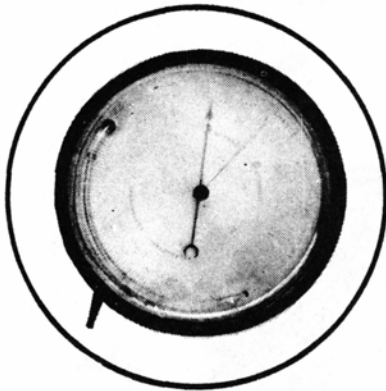
関連記事2面に

大野丸、116年前に建造

カラフト開拓と国防に貢献

排水量500トンの洋帆船

安政2年、幕府はロシアの勢力がカラフトへ南下して来ることへの対策として



北海道を直轄地とし、諸藩や旗本にエゾ地移住を令しました。

大野丸は、大野藩がエゾ地の開拓経営と商品の交易を目的として建造した2本マストの洋型帆船でした。

安政5年(1858)6月に完成し、土井利忠が大野丸と命名した長さ32.4呎、幅7.2呎、深さ5.4呎、約500トンの船で、吉田拙藏船長以下乗組員は30名でした。

安政6年3月から箱館・敦賀間を往来して人や物資を輸送し、カラフト開拓使早川弥五左衛門らの努力によって、北辺の開拓と国防にも大きく貢献しました。

不幸にも元治元年(1864)8月、エトロフへ鮭を積み取りに行く途中、ネムロの沖で暗礁に乗り上げて沈没しました。

晴雨計が唯一の遺品

大野丸は当時最も新式の船であったことは、安政6年8月にオコシリ島沖で米国船が座礁したとき、その救助方を名ざして懇請されたことでもわかります。

装備等にも舶来品が多く使用されましたが、いま郷土歴史館に收藏されている英国製のアネロイド晴雨計もその一つです。直径12呎、厚み5呎の円型金属製で、

小型ですが性能は良く、当時航海用・登山用として珍重されたものです。

大野丸座礁のとき、船員の努力によって持ち出された要具の中、この晴雨計は郷里に持ち帰られて内山家の所蔵となり栃木家、坂井家と移って、歴史館開館のとき寄贈されました。

今は大野丸をしのぶ唯一の遺品として貴重なものです。

蘭学の先覚大野藩

思いを120年の昔に戻すとき、安政時代の大野は、華やかな中にも緊張した時代でした。

スマイル

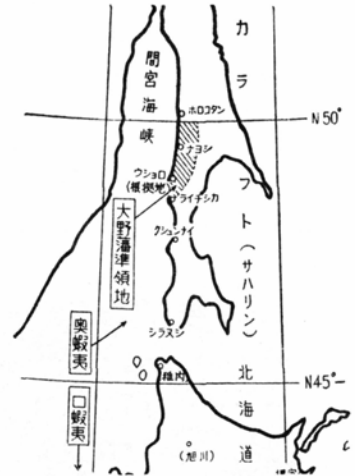
「鯉のほり倍額」

端午の絶句

——庶民

コーナ—


一代の英主土井利忠を中心としての蘭学の研究が盛んで安政元年からは兵学・航海・築城術等の洋書を翻訳出版し、安政3年ころの明倫館・洋学館には、全国



からの留学者が参集しました。安政3年に始まる北海道・カラフトの探検と開拓安政5年の大野丸建造、これらのすべては密接な関連をもっていて、しかもどの一つを取り上げてみても、全国に誇るに足る大事業でした。

万延元年(1860)8月に、幕府から、カラフト西海岸を大野藩準領地とする辞令を受けたところが最盛期でした。しかし利忠の引退、内山隆佐の死、大野丸の沈没等で、この準領土も明治元年(1868)には政府に返還することになるのです。

大野丸の碑の建立に際して、われわれは、全国にさがかけた祖先の偉業を顕彰するとともに、その名を取ずかしめないよう努力することを誓いたいものです。



⑫ 柳 廼 社

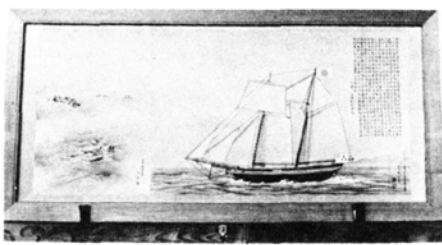
大野丸の図

土井利忠をまつる柳廼社の拜殿正面

は有馬文学博士です。大正10年(1921)5月に、神社の県社昇格五年祭を記念して掲げたことが記されています。

洋型帆船大野丸を造って、北辺の開拓と国防に貢献した土井利忠を中心とする大野藩の偉業を、後世に伝える記念すべき図です。

この図はカラー写真にして、昭和48年の日本海博に出展され、また越前大野城への登り口に建てられた「大野丸の碑」の銅版浮き彫りの図は、この図を模写したものです。



に、大野丸とその米国難船救助図が掲げられています。絹地に描かれた図は、扁額に表装されて「大正十年

三月三日、祖父隆佐手製の船図を謹写す。外孫不崩岡吉寿」と署名があります。利忠の孫土井利剛の撰文で、筆者

きれいな流れを取り戻そう

市区長会が呼びかけ



大野市区長会は4月3日の総会で「川をきれいにする運動」の実践を決議しました。

「市内の川は年々汚れが目立ち私たち

の生活環境を悪くしているのです、みんなの力でもう一度きれいな流れを取り戻そう」と上野区から提案があり、関係機関団体とも協力して全市民挙げてこの運動

に取り組むことになりました。

主な実践事項は次のとおりです。

- 1、川へ汚物を捨てない。
- 2、月に1度は周囲の川の清掃をする。
- 3、河川の自然浄化を促す方法に心掛ける。
- 4、汚物・廃棄物は、燃えるもの、燃えないもの、危険物に分け、別々の容器に入れて処理する。

この運動について市区長会長の桑野和夫さんは「今年区長会としては、生活環境の美化を徹底してやりたい。それには関係機関団体の協力を得なければできないので、早く連絡会などをもって実行していきたい」と述べ、市婦人会連絡協議会長の吉田サキノさんは「ごみの管理者は婦人であるから、環境美化運動は毎年婦人会活動としても取り上げている。特に今年は区長会が力を入れて下さるので協力し合って強力に進めたい」と語っていました。市もこの動きに呼応して、ごみの収集方法や、広報活動など具体的な計画を立てています。

“大エノキさん元気になって、

そ生手術で一里塚守る

榎地区にある市指定文化財「大エノキ」は、老化して根元の腐りがひどくなりました。この冬も幹に一番近い大枝が折れ、このままでは倒れる恐れが出ましたので市は4月17・18日の両日に枝切り、腐食

部分の取り除き、防腐の作業をしました
この「大エノキ」

は江戸時代の中期に、岐阜へ通じる美濃道の「一里塚、の道標として植えられたもので、市内に残るただ一か所の貴重な目安樹木です。

現在は根回り7.5m、高さ22m、樹齢約300年の大木で、市はこれからも樹勢を盛んにするように補強する一方、エノキの若苗を植えて永久に「一里塚」を保存するよう計画しています。(写真はクレーン車が出動して枝切りをする作業現場)



陽明中体育館が完成

陽明中学校第3期工事として、昨年の7月から建設をしていた体育館が完成しました。

事業費は9.629万円で、鉄筋コンクリート造り1,478平方mのものです。

市内の体育館の中では床面積が一番大きく、また他の体育館に比べて幅が広いのが特徴で、バスケットボール、バドミントン、バレーボールなどの正規のコートがとれるように設備されています。

陽明中学校建設は昭和46年5月から第1期工事を始め、満3か年を費やして、総事業費3億4,483万円で完成しました。

食卓にふるさとの味を

上庄に料理研究会が発足

上庄地区に「ふるさと料理研究会」が4月16日に発足しました。

会員は会長森永志づ子さん(上据)外14人で、2月に完成した上庄公民館の料理実習室で、この地方に古くから伝わる「ゼンマイの大豆あえ」「ウドのみそいため」などの実習をしました。

この研究会ができた理由について、副会長の杉川つね子さん(稲郷)は「昨年、上庄地区にどんなふるさと料理があるかを調べて、約40種類集めました。またお年寄りを対象に、食事についての調査をした結果食卓にふるさとの料理がほしいという意見が多かったため、この会をつくることになりました。6月からは毎週の料理講習で普及すると共に、月1回研究会をもつ計画です」と語っていました。潤いのある食改善活動が期待されます

山火事をなくそう

タバコの投げ捨てはしないで

山火事が多い季節になりました。毎年5月には大きな火事が2、3件あり、多くの立木を失っています。

主な原因は、山菜取りやハイキングなどの際、たばこの投げ捨てやたき火の不始末、また山作業者の火入れの不注意などです。

次のことに気を付けて、大切な山を守って下さい。

- 1、山に入る時は、山の管理者か地元区長の許可をもらい、3人以上のグループで行動しましょう。
- 2、タバコの投げ捨て、たき火は絶対やめましょう。
- 3、山作業の火入れ、たき火をする時は、消防署の許可を受けましょう。

◆……みんなで防ごう交通事故

<5月の目標>行楽シーズン・農繁期は疲れがちです。過労運転はやめましょう

交通事故状況

区分 年別	総件数	人身 事故数	死者	傷者
49年	49	42	2	59
48年	65	57	2	80

(各年4月20日現在、大野署調べ)

◆……土地の標準価格を公表します

市は5月10日から土地の標準価格を公表します。市役所都市計画課に公示台帳が備えてありますので、ご希望の方は申請手続きをしてご利用下さい。閲覧料金は無料です。

土地の価格を安定させ、適正な取り引きが行われるようにするため「地価公示法」がありますが、5月1日からこの適用範囲が大きな都市ばかりでなく、工場・宅地化の激しい市町に広がりました。

この法に基づき大野市では3か所の標準地が選ばれました。

標準価格は、その土地を不動産鑑定士が評価し、建設省が決定したものです。

これからの土地の売買は、標準価格を基準にした適正な取り引きが望まれます

◆……区ぐるみでハエ、カ駆除を

ハエ、カが発生する時期になりました。衛生的で快適な生活をするためには、町内・区一斉に駆除作業をすることが大切です。ぜひ実施して下さい。

市は例年のとおり、駆除薬を割り安であっせんするよう計画しています。

後日、区長さんを通して連絡しますのでご利用下さい。



◆……福祉年金証書は市役所へ

5月支払い分の老齢・障害福祉年金が5月7日(火)から郵便局で支払われます。年金を受けましたら証書はすぐ市役所市民課、または近くの公民館へ出して下さい。これからの年金額を記入し、後日、本人にお返しします。

◆……2級障害者にも福祉年金が

国民年金法の改正で、障害福祉年金の支給範囲が拡大され、4月分から2級障害者にも月額5,000円の年金が支給されます。

20歳以上70歳未満の方で、耳がほとんど聞えないとか、口がきけない、眼鏡をかけてもボンヤリとして見えないなど、2級障害者であると思われる方は、市役所市民課へお問い合わせの上、早く請求手続きをして下さい。

◆……今月から印紙税が変わります

金銭受取書の印紙税は、今まで1万円以上1通につき20円でしたが、5月1日

今月の市民相談

交通事故相談 14日(火)
午前10時～午後4時 市役所
行政・人権相談 14日(火)
午後1時～3時 市役所
心配ごと相談 毎週木曜日
午前9時～正午 市役所
家庭児童相談 毎日
午前8時30分～午後5時市役所
社会保険相談 2日(木)、20日(月)
午後1時～4時
大野織物工業協同組合

からは3万円未満は非課税、以上は50円になり、証書や印鑑証明委任状などの文書も50円に引き上げられました。また売上代金50万円を超す受取書や、高額な契約書・手形などは金額の種類によって印紙税が変わります。例えば、受取書は50万を超え100万円までは100円です。

◆……商業統計調査にご協力を

商業統計調査が5月1日全国一斉に行われます。市内すべての商店が対象になり、調査員が訪ねますので、ご協力下さい。

たか。……窮乏の藩財政を救い、北辺防備と辺地開拓という国家的な回天の大事業を成し遂げた歴史的事実は永久に消えるものではない。▼この程、亀山公園に石碑「大野丸」が建立された。この碑の前に立つとき、往事を回顧してうたた感懐の新たなものを覚えると同時に、この先達に遅れじものをと諭した詩人故三好達治氏や、記念碑寄贈の大野青年会議所有志の誠意に対し心から敬意を表したい。

M生



昭和四十六年十一月号、雑誌「歴史と人物」に掲載の小説「朔(さく)」について、四十七年の新春この欄に書き各位の必読を呼びかけた。作者は綱淵謙錠、直木賞を受賞した新進気鋭の作家で、最近出版された単行本「苔(たい)」に再収録された。藩船「大野丸」による北海道、カラフト開拓への挑戦を描いた力作で、必読を促したゆえんはここにある。▼領高わずか五万石に満たない山国の小藩が、なぜにかくも雄大な壮挙をなし得たかの要因については、各位のご判断にまっとうしても、その一大誘因としてぜひ特筆すべきは、当時の大野藩における教育の振興である。天保十五年(一八四四)に藩校「明倫館」を建て、藩士以外に農工商の子弟の入学を許可して天下を驚かせた。さらに安政三年(一八五〇)には「洋学館」を付設、教育藩大野の名声をとどろかせた。▼ここに学んだ青年たちが、かつて大野藩の飛領地織田庄(丹生郡)に赴き、波高い日本の岩頭に立って飛まつにかかると虹の彼方に描いた青春の夢は一体何であったか。……窮乏の藩財政を救い、北辺防備と辺地開拓という国家的な回天の大事業を成し遂げた歴史的事実は永久に消えるものではない。▼この程、亀山公園に石碑「大野丸」が建立された。この碑の前に立つとき、往事を回顧してうたた感懐の新たなものを覚えると同時に、この先達に遅れじものをと諭した詩人故三好達治氏や、記念碑寄贈の大野青年会議所有志の誠意に対し心から敬意を表したい。